

### 第86回リニアドライブ技術委員会議事録案

日時：平成15年10月3日(金)13:30～16:30

場所：八重洲センタービル会議室

出席者：委員長 大崎(東京大)

副委員長 北野(JR東海)

委員 小豆澤(神戸大)、築島(三菱電機)、藤井(九大)、渡辺(FDK)、  
海老原(武蔵工業大)、楡井(長野高専)

幹事 水野(信州大)、村井(鉄道総研)

幹事補佐 真田(大阪府立大)、鳥居(武蔵工業大)

#### 提出資料

- 86-1 第85回リニアドライブ技術委員会議事録案(鳥居幹事補佐)
- 86-2 リニアドライブ技術委員会名簿(鳥居幹事補佐)
- 86-3 第70回産業応用部門研究調査運営委員会報告(村井幹事)
- 86-4 平成15・16年度リニアドライブ関連各委員会予定一覧(鳥居幹事補佐)
- 86-5 リニアドライブ研究会(村井幹事)
- 86-6 LD技術委員会傘下の各委員会の資料提出スケジュール(案)(真田幹事補佐)
- 86-7 平成16年電気学会全国大会シンポジウム(案)提案用紙(水野幹事)
- 86-8 多次元ドライブシステム調査専門委員会解散報告書(案)(海老原委員)
- 86-9 多自由度モータによるドライブシステム調査専門委員会設置趣意書(案)(海老原委員)
- 86-10 国際会議計画趣意書(案)第5回産業用リニアドライブ国際シンポジウム(小豆澤委員)
- 86-11 国際会議 企画0次案(小豆澤委員)
- 86-12 平成16年度活動計画 第1次案(大崎委員長)
- 86-13 リニアドライブ技術委員会関連の活動の活性化—今後へ向けた検討課題—(大崎委員長)
- 86-14 磁気支持応用機器におけるダイナミクス調査専門委員会(MLV)活動報告(村井幹事)
- 86-15 多次元ドライブシステム調査専門委員会(MDD)活動報告(海老原委員)
- 86-16 リニア電磁駆動装置解析手法の体系化調査専門委員会(LMD)活動報告(楡井委員)
- 86-17 産業用リニアモータの特性測定法と評価技術調査専門委員会(MEL)活動報告(水野幹事)
- 86-18 超電導磁気浮上式鉄道の技術的成熟度調査専門委員会(SLD)活動報告(北野副委員長)
- 86-19 第8回多次元ドライブシステム調査専門委員会議事録(海老原委員)
- 86-20 第8回リニア電磁駆動装置解析手法の体系化調査専門委員会議事録(楡井委員)
- 86-21 第2回産業用リニアモータの特性測定法と評価技術調査専門委員会議事録(水野幹事)
- 86-22 平成15年度リニアドライブ技術委員会活動報告(大崎委員長)

#### 議事

##### 1 議事録確認

資料86-1を用いて議事録確認を行い、議事2.7「MDD&ECD」を「MDD及びECD」に、同「発表は鳥居が」を「発表は鳥居幹事補佐が」に、議事3.3「(英文論文でLD特集が組める、等の)」を「(英文論文でLD特集が組める)、等の」に、それぞれ訂正の上、承認された。

##### 2 報告事項

- 2.1 資料86-2を用いて、委員会名簿の確認を行った。
- 2.2 資料86-3及び86-22を用いて、村井幹事より、D部門研究調査運営委員会の報告があった。調査会議報告で、情報公開法に基づく資料の取り扱い、国際会議等の決算報告作成方法等についての議論があったこと、産業応用フォーラムの積極的な開催を期待していること等が述べられた。
- 2.3 資料86-4及び86-5を用いて、村井幹事より、11/27,28に行われるLD研究会についての紹介があった。また、併せて行われる見学会と懇親会について、小豆澤委員からの紹介があった。さらに、平成15・16年度各委員会の予定を確認し、以下の修正があった。
  - (1) LMD委員会：開催予定日を11/13から11/6に修正
  - (2) LD技委主催山梨実験線見学試乗会(100名)を11/22に実施

2.4 資料 86-6 を用いて、真田幹事補佐より、資料提出スケジュールの確認があった。

### 3 審議事項

- 3.1 資料 86-7 を用いて、大崎委員長より、H16 電気学会全国大会シンポジウムの提案について説明があった。MEL委で担当することが提案され、承認された。
- 3.2 資料 86-8 を用いて、海老原委員より、MDD委の解散報告書案についての説明があり、軽微な変更の後、承認された。
- 3.3 資料 86-9 を用いて、渡辺委員より、次期MDD（多自由度モータによるドライブシステム）調査委員会の設置趣意書案の説明があった。委員会名など、現委員会との相違が見えにくいとの指摘があった。指摘に基づき、調査専門委員会で検討し、メールで委員会に回覧して検討することとした。
- 3.4 資料 86-10 及び 86-11 を用いて、小豆澤委員より、第5回産業用リニアドライブ国際シンポジウムを2005年に日本で開催する準備を開始したことについての説明があった。会場は淡路島、2005年9月25-28日を予定している。開催時期について以下のような意見が出された。
- (1) IPEC2005(新潟)との関連で、LDの貢献を減らさないように注意すべきである。
  - (2) ICEMS2005も日本で秋に行われる可能性がある。現在2006年にするということで交渉中である。
  - (3) 九州支部大会と重なる時期である。 確定
- 関連して、以下の事項が確認された。
- (1) 部門運営委員会、部門役員会等の承認を経て準備委員会が発足する。 → 直、紐着
  - (2) 同時に管理委員会は解散となる。
  - (3) 基本的に部門主催、場合によっては学会主催とする。
  - (4) 国際運営委員長を海老原委員とする。
  - (5) 将来的な持ち回り開催の構想を立てるべきである。
- 3.5 資料 86-12 を用いて、大崎委員長より、H16年度の活動計画についての説明があった。H16年度以降のLD研究会開催について、またそれらの担当調専委の組み合わせについての議論があった。今後、早めに日程をフィックスし、1号委員に座長として出席を割り振ることとした。
- 3.6 資料 86-13 を用いて、大崎委員長より、LD技術委員会関連の活動活性化についてのまとめが概略説明された。

### 4 各調査専門委員会活動報告

資料 86-14～86-21 を用いて、各調査専門委員会からの活動報告があった。

### 5 その他

渡辺委員より、旧LMD委主催の産業応用フォーラムについて、技術報告を現在鋭意とりまとめ中であること、それをテキストとして12月に開催予定であるとの報告があった。

以上